

【 報 告 】

第12回高気圧酸素治療セミナー報告： －八木博司先生とも語る－

合志清隆

プログラム

安全性向上を目指して 司会 宇都宮精治郎（新別府病院）
参 加 者：鈴木尚人（札幌時計台病院），中島正一（聖マリア病院），濱田倫郎（済生会熊本病院），右田平八（大分中村病院）

コメンテーター：有川和宏（鹿児島大），瀧健治（佐賀医科大），八木博司（八木病院）

現在の問題点と将来への展望 司会 合志清隆（産業医科大）
参 加 者：有川和宏（鹿児島大），瀧健治（佐賀医科大），溝口義人（健愛記念病院）
指 定 発 言：八木博司（八木病院）

2002年6月8日に福岡市において「高気圧酸素治療セミナー」が開催され、約130名の参加があった。その参加者の一人として今回のセミナー内容を紹介する。

歴史を振り返り、正しい歴史認識のもとで判断を下すことは、万事に重要な意味を持っている。今回のセミナーでは、この領域で解決が必要な問題点を参加者で検証し、八木博司先生が高気圧医学に携わってこられた40年の歴史をもとにして、様々な点で先生から意見を伺う形式を採った。さらに、21世紀の医学・医療の方向性のなかで、高気圧医学にどのような可能性があるのかも語り合った。

前半の「安全性向上を目指して」の項は治療担当の技師を中心とした討論であり、輸液や人工呼吸が必要な患者に対して技師としてどう対処するのかが話題になっていた。これは第1種治療装置で問題になることであろうが、輸液や人工呼吸器の使用は最小限にする必要がある。しかし、これは第2種治療装置での治療でも同様で、循環器系の不安定な状態では治療をなるべく避けているのが現状であろう。担当技師としては重症患者の治療が可能にまで医療体制を整えることも必要だろうが、医師との十分な検討の上で適切な医療を施し、医療事故を最低限に抑えることが最も重要であると八木先生からコメントがあった。また、個々の疾患での治療は別にして、空気加圧と酸素加圧の差異も検討課題に上った。

後半では「現在の問題点と将来への展望」の討議に移ったが、前半での技術的討論を踏まえて医師から意見を出してもらった。最初に担当技師から指摘を受けたのは、この治療に対する医師の興味の低さであった。この点は反省させられるが、救急医が中心となり治療を遂行することや、医師の学術活動の推進が必要であると八木先生は述べられていた。この治療法に携わる医療者が、重症患者の治療を第2種治療装置で経験していれば、病状急変への対処が集中治療室とは異なり、時には重大な事故を容易に惹起することも承知しているであろう。したがって、この治療法では医療の中でも専門性が重視されるので、救急に携わる医師の教育と専門医師の認定を推進する必要がある。

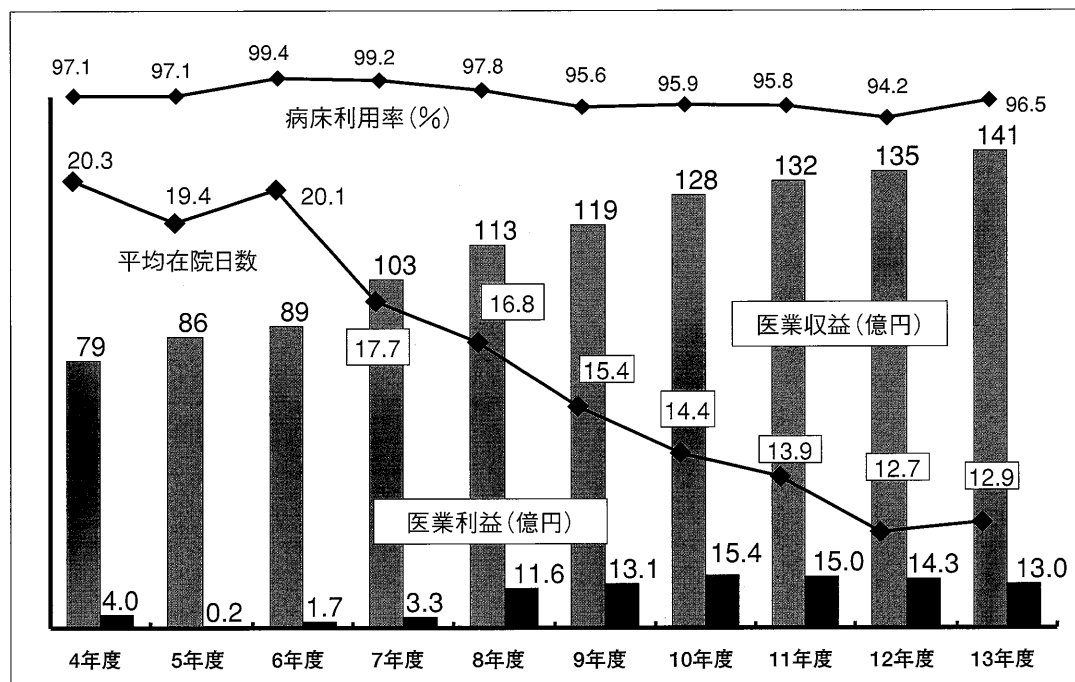


図1

また逆に、医師の側から担当技師への意見としては、臨床工学技士の診療行為は限定されたもので、実際の診療に制限が生ずるとの意見も出された。さらに、管理医・専門技師認定制度の持つ意味や問題点についても検討を行った。

診療報酬点数の改正のなかでの高気圧酸素の議論をしたが、平成14年度の改正の一つに酸素購入価格の大幅な引き下げがあり、「医療情報委員会」で調査を行ない、学会でも検討中であると紹介があった。しかしながら、早期に同治療法を診療に活用することで良好な治療成績が得られている事実からは、同治療がさらに診療の枠組みの中に組み入れられる可能性を示唆している。

このように医療界が大きく変わっている現状では、医療機関の収支も重要な検討課題であり、クリニカル・パスの導入でも有名な済生会熊本病院の取り組みについて濱田氏から紹介があった(図1)。この地区で行われている脳卒中医療の病病連携は「熊本方式」と呼ばれ、同病院はその中核施設の一つであるが、わが国の医療体系のモデルになっている。そこには効率化による医療の無駄を省く努力が続けられており、多くの参加者の注目を集めていた。また、病院改革は職員の意識改革と平行して進めることが必要で、そこには人事制度とも関連付けていくことの重要性を強調されていた。この点に関しては、病診あるいは病病連携のなかで同治療をどのように組み入れるかが課題であると、八木先生がコメントされていた。

今回のセミナーでは、高気圧酸素治療の問題を討議するに留まらず、医療・医学さらには政治・経済や21世紀はどうあるべきかと、幅広いテーマで意見を募った。専門に細分化されすぎた感のある現代医学の中で、より広い視野で物ごとを判断することも個人々に要求されており、このセミナーの運営手法や内容は今後の学術集会の一つのあり方ではなかろうか。

今回のテーマは「温故知新：八木博司先生と語る」としたが、先生からの意見の一つ一つに傾聴せずにはおられず、歴史の重みを改めて認識させられた。

(エア・ウォーター主催)